

国家戦略特区ワーキンググループ ヒアリング（議事録）

（開催要領）

1 日時 平成29年5月12日（金）12:26～12:28

2 場所 永田町合同庁舎7階特別会議室

3 出席

<WG委員>

座長 八田 達夫 アジア成長研究所所長
大阪大学社会経済研究所招聘教授

委員 原 英史 株式会社政策工房代表取締役社長

<関係省庁>

蓮井 智哉 経済産業省経済産業政策局産業構造課長

<事務局>

佐々木 基 内閣府地方創生推進事務局長

藤原 豊 内閣府地方創生推進事務局審議官

福田 修 内閣府地方創生推進事務局

（議事次第）

1 開会

2 議事 サンドボックス制度の近未来技術への対象化（フィンテック、シェアリングエコノミー）

3 閉会

○事務局 今回、こちらの案文を昨日お送りいたしまして、御覧いただいておりますが、こちらについて御意見があればお伺いしたいと思っております。

それでは、司会は座長の八田先生にお願いします。

○八田座長 どうもお忙しいところ、わざわざお越しくさしまして、ありがとうございます。この文言で成長戦略に載せたいのですが、これについて御意見がございますでしょうかということです。

○蓮井課長 文案について特に意見はございません。こちらの前提としては、いわゆるレギュラトリー・サンドボックスの検討が特区制度の中にもありますし、経済再生事務局でも色々と検討されていると聞いておりますので、どちらにせよ政府全体でそういった取組みを進めていくと認識しており、今日の日経にも出ておりましたが、それは非常に重要だと思っておりますので、これについて私どもで特段意見は無いのですが、これは基本的には特区でやることの中身でこういうことまでやっていくという御趣旨で書いてあるという

理解でよろしいでしょうか。

○八田座長　そうです。

○藤原審議官　そうなのですが、特区の法律の規定が、御承知のとおり、附則に今は検討規定を書いておりますが、必ずしも出口を特区と限っていませんので、色々な可能性、サンドボックスは別にドローン等だけに限っていないので、そういうところを大変勉強されている自民党の方々からも、そこに対する期待が提言されています。おととい総理のところに行かれています。そういったところへの一つの受け皿ということで、ある程度触れさせていただいているところでございます。

○蓮井課長　先ほど申し上げたとおりでありますので、第4次産業革命の社会実装を早期に進めるという観点から、日本版レギュラトリー・サンドボックスというのは、まさに今、次長がおっしゃったように、特区のやり方、それ以外のやり方があると思いますけれども、それは政府全体として進めていくことが非常に重要だと思っております、経済産業省としては協力したいと思っております。

以上でございます。

○八田座長　どうもありがとうございました。